

冬の節電



できることから始めよう

次はあなたも **エコライフ**

環境課
内線253

日に日に寒さが厳しくなってきました。服装が厚着になり、ご家庭では暖房器具が活躍しているのではないでしょうか。

節電というと夏ばかりクロージアアップされますが、実は、冬こそ節電が必要な季節なのです。全国の家庭で消費する電力量を月別に見ると、夏場よりも1月から3月までの冬場の方が多くなっています。また、夏は一番暑い午後2時から4時までが電力消費のピークですが、冬は一家団らんの時間でもある午後7時から9時までにピークを迎えます。

冬の節電の大きなポイントは、消費量のピーク時に消費量の大きな電気製品を同時に使わないようにすることです。電気製品の使用が重ならないよう、家事や生活の中で譲り合います。また、広い部屋を暖めるには、ヒーターよりもエアコンの方が効率的です。

これから本格的な冬を迎えます。夏同様、冬も節電を意識して生活してみましよう。寒い冬でも上手に節電すれば、お部屋だけでなく財布の中身も暖かくなるかも。まずは簡単にできることから取り組んでみましょう。

消費電力の 大きな電気製品

- ▷電気カーペット
- ▷電気ストーブ
- ▷ジャー炊飯器
- ▷電気ポット
- ▷電子レンジ
- ▷ホットプレート
- ▷オーブントースター
- ▷IHクッキングヒーター
- ▷食器洗い乾燥機
- ▷温水洗浄便座
- ▷ドライヤー
- ▷洗濯乾燥機
- ▷浴室乾燥機
- ▷掃除機
- ▷アイロン

など

あのときときは

今は昔、土岐市に緑豊かな植物園が完成した頃。世間では、映画「ウエスト・サイド物語」がロングラン上映し、大ヒットしました。今月は50年前の昭和37（1962）年の土岐市を振り返ります。

昭和37(1962)年 「土岐市広報」より



本市主催で大阪見本市〈5月5日号掲載〉

この年の5月19日から3日間にわたり「第1回美濃焼原産地見本展示会」が大阪市で開催され、同時に大阪市内の陶業界の名士を多数招いて懇談会が行われました。懇談会では、参加した大阪府陶商組長が「美濃焼でこんな立派なものができるかと驚いた。安い物ではなくこういったものを作ったらしい」と語るなど、忌憚ない意見が交わされました。



日本式庭園が完成 〈6月15日号掲載〉

昭和32年9月、下石町に市立植物園が造成されることになり、数年かけてさつき園やバラ棚のほか“鳥の家”などが造られました。そして昭和37年の春、植物園の中央に日本式石庭（写真）がお目見えし、訪れた人は美しい石庭の前に、何度もカメラのシャッターを切っていたそうです。